利用料

家賃	50,000円
厨房管理費	32,400円
食費	21,600円
管理費	37,400円

月額 141,400円※～

その他ご負担いただくもの

敷金	100,000円

- ●11月～4月は冬期暖房費として 7,700円/月 が別途加算
- ●管理費は状況把握・生活相談サービスの費用を含む
- ●介護保険料、医療保険料、紙おむつ代は自己負担
- ●記載はすべて2024年8月時点の税込表記

※別途光熱費がかかります※厨房管理費・食費は1日3食を30日間提供した場合の料金

対応可能な医療行為

○：対応可　△：応相談　※：状況に応じて対応可

脳深部刺激療法(DBS)		○	レボドパカルビドパ経腸療法(LCIG)	○
胃ろう		○	膀胱留置カテーテル	○
経鼻経管栄養※		△	膀胱ろう・腎ろう	○
在宅酸素		○	褥瘡管理	○
人工呼吸器※		△	ストーマ	○
中心静脈栄養	ポート埋め込み	○	血糖管理	○
	IVH	△	たん吸引	○
			お看取り	○

対応可能な医療処理

レボドパカルビドパ経腸療法(LCIG)、脳深部刺激療法(DBS)、輸液、注射、栄養、胃ろう腸ろう、経鼻経管栄養※、血糖管理、排泄ケア、人工肛門、膀胱留置カテーテル、呼吸器ケア在宅酸素療法、在宅人工呼吸器療法※、吸たん、吸入、腎ろう、膀胱ろう、褥瘡管理

上記以外の内容についてはお問い合わせください。

施設のご案内

PDハウス西宮の沢

TEL. 011-215-7836
FAX. 011-215-7837

〒006-0004 北海道札幌市手稲区西宮の沢4条3丁目3番34号
JR函館本線「発寒駅」より車で5分
2021年5月開設

居室面積 約11畳 18.00㎡(完全個室)　**定員数** 45名

入居のご相談はこちらへ

011-215-7836

対象疾患 パーキンソン病、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症
多系統萎縮症、脊髄小脳変性症の方も対応いたします。

株式会社サンウェルズ
https://sunwels.jp
ホームページはこちら

JPX PRIME
証券コード:9229

東京本社：東京都港区浜松町2丁目10-6 PMO浜松町III9階
TEL / 03-6435-8390　FAX / 03-6435-8391
金沢本社：石川県金沢市二宮町15番13号
TEL / 076-272-8982　FAX / 076-272-8986
大阪支社：大阪府大阪市北区堂島1丁目1番5号 関電不動産梅田新道ビル10階
TEL / 06-6940-6513　FAX / 06-6940-6514
福岡支社：福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目27-24 博多タナカビル5階
TEL / 092-260-8839　FAX / 092-260-8859

パーキンソン病専門ホーム

サービス付き高齢者向け住宅

PDハウス西宮の沢

PD HOUSE NISHIMIYANOSAWA

PDハウスを動画でご紹介！

サンウェルズ月寒ヘルパーステーション
サンウェルズ月寒訪問看護ステーション
提携

PDハウス3つの特徴

1 パーキンソン病リハビリに必要な3要素を取り入れたプログラム

神経内科専門医監修によるリハビリプログラムを最大週3回提供できる体制を整えています。

個別性 継続性 主体性

2 神経内科専門の医師による訪問診療

パーキンソン病では脳神経内科医師による専門的医療がとても重要となります。ＰＤハウスでは全国に90名を超える神経内科医師及び脳神経内科病院と連携しており、専門の医師が訪問診療を行う事で入居後も安心して専門的治療を継続できる体制を整えております。

3 看取りまで対応 24時間の訪問看護体制

細かな症状の変化へ対応し、パーキンソン病の治療で大切なおくすりの調整をサポートします。また、手厚い人員配置により、お看取りまで対応させていただきます。

独自開発 PDノートの活用

順天堂大学坪井教授監修のPDノートを活用。パーキンソン病のオン・オフ症状の把握、日々の状態観察を診察時に正確な情報が提供できるよう取り組んでおります。

PDハウスはパーキンソン病に特化した新しい形の介護施設です。

※館内画像はPDハウス岸部のものです。

1日の過ごし方 ※スケジュールは一例です

午前の部		午後の部	
6:30	起床	13:00	サークル活動
7:30	朝食	14:00	集団リハビリ
9:30	個別リハビリ	14:30	入浴
10:00	訪問看護	15:00	ティータイム
11:00	集団リハビリ	16:00	集団リハビリ
12:00	昼食	17:30	夕食
		18:30	フリータイム
		20:00	就寝

個別リハビリ（30分）最大週3回

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が専門医監修の症状別プログラムを参考に、お身体の状態に合わせ最適なリハビリプログラムを最大週3回提供できる体制を整えております。
※リハビリの回数は本人様の状態に応じて実施いたします。

集団リハビリ（30分）

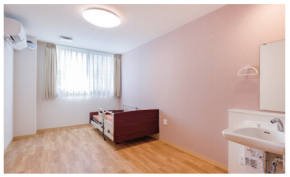
パーキンソン病に必要な運動要素を取り入れた独自動画を使用し、リハビリスタッフ指導の下実施致します。他の利用者と雰囲気を共有し、楽しみながら行うことで運動の効果をより高めることができます。
※11:00、16:00は口腔嚥下体操含む

サークル活動（60分）週1～2回

複数のサークルからご自身で好きな活動を選んでいただくことで楽しみややりがいを見いだし、充実した生活を送っていただけます。また、生活目標にも繋がり、楽しくリハビリ継続ができている方も多くいらっしゃいます。

※この他にも季節ごとのイベントが月1回程度ございます。
※ご本人様のお身体の状況に応じ変更になる場合もございます。

■ 入浴室（機械浴）



■ 居室

■ 食堂

日本を代表する医療機関との連携・研究

運営顧問・共同研究

順天堂大学 服部 信孝教授
全国パーキンソン病友の会顧問

順天堂大学 坪井 義夫教授
福岡県パーキンソン病友の会顧問

運営顧問・運営連携

脳神経ホームクリニック
松本 禎之院長

運営顧問

京都大学
髙橋 良輔教授

共同研究

関西医科大学
髙橋 牧郎教授